

# Arbor Networks® SP

ネットワークの実態を捉え、ビジネス環境を理解する。  
問題を解決し、ビジネスを拡大する。

## 主な特長とメリット

### ネットワーク・リソースの最適化

ネットワーク全体の視認性と包括的なトラフィックレポートによって、柔軟な、スマートなトラフィック設計が可能になります。トランジット・コストを削減し、使用率を高め、ネットワークの拡大に向けたインテリジェントな計画立案を実現します。

### ビジネスへの貢献

ビルトインおよびアドホックなトラフィックレポートおよび市場レポートを活用することで、ビジネス環境への知見を提供します。ここから、ビジネスの成長に役立つトレンドが見えてきます。

### ダウンタイムの最小化

ネットワークおよびサービス可用性の脅威をプロアクティブに検出します。これを通して迅速な診断を可能し、コンフィギュレーション・エラー、フラッシュ・クラウド、DDoS 攻撃など、悪意のある脅威が、ネットワークの可用性に影響を与えることを防ぎます。

### 新規サービスの開始

ネットワークの視認性および脅威検出に使用している Arbor SP プラットフォームをトラフィック・インテリジェンス、市場分析、サービス品質 (QoS)、MPLS/BGP VPN として活用することで、新規サービスを容易に立ち上げることができます。

### クラウドベースの柔軟なライセンス

FLEX ライセンスによって、性能を柔軟に拡張でき、同時に総所有コスト (TCO) を削減します。

### データのコントロール

Arbor SP を利用することで、データのコントロール主体となることができます。どのルーターがデータを送信するのか、そのデータはどこに保存されるのか、アクセスしたのは誰かを判定することができます。データの存在場所や存在している国がどこであるかについて懸念が一切不要になります。

### プロセスの自動化

RESTful API を使用することで、自社の他システムとの統合が可能となり、さらに価値を生み出すプロセスの自動化をもたらします。

ネットワーク・データの急激な増加および OTT (Over-The-Top) アプリケーションによるコストと利益損失という2つの要素が、従来型のサービスプロバイダーの収益を圧迫しています。ネットワーク運営者にとってビジネス課題を解決するための起点は、自社のネットワークで何が起きているかを視認することです。Arbor SP を仮想マシンまたは専用アプライアンスとして導入することで、広範囲にわたるネットワークの視認性を容易に実現します。Arbor SP は大規模で複雑なネットワークを所有する通信事業者や企業向けに設計され、グローバルなネットワーク全体にわたる費用効果の高い柔軟な拡張が実証されています。ネットワーク全体から NetFlow、SNMP および BGP ルートを解析し、生データをビジネスインサイトへと変化させます。ここから得た知見に基づいてアクションを取ることで、ネットワークの計画/設計からサービス可用性・サービスインテグリティまでのさまざまな課題を解決することを可能にします。

## ビジネス・ニーズと共に進化するソリューション

ネットワーク運営者として求められることは、ビジネス・ニーズと共に進化するソリューションの需要に応えることです。Arbor SP は、過去 10 年にわたって、ネットワーク運営者と共に進化し、ネットワークを通してトラフィックがどのように流れているのかを捉えるための事実上のプラットフォーム標準であり続けています。Arbor SP の進化のために、Arbor は次の主要ビジネス目標に取り組んでいます。



### 単なるデータではなく、ビジネスインサイトを獲得

今や、ネットワークそのものがビジネスです。ネットワーク運営者は、リソースを最適化して、コスト削減に常に取り組む必要があります。Arbor SP は、ネットワーク全体のキャパシティ計画から、オーバーレイ RFC 2547 BGP/MPLS VPN の管理に至るまで、堅牢な機能を提供します。このような広範囲にわたるネットワーク・データは、ルーティングやピアリングの設計を決定するために活用される同時に、トランジット・コストの削減およびビジネスインサイトの提供を可能にします。



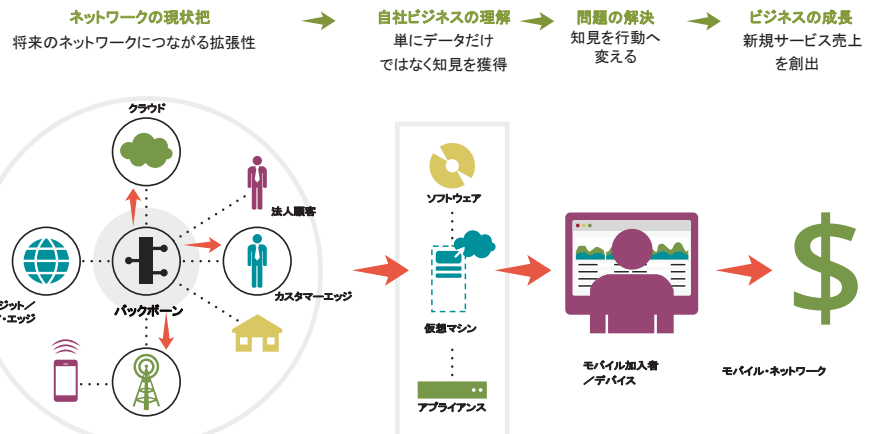
### ネットワークおよびサービスの維持

まさに、「時は金なり」です。ネットワーク運営者は、影響が出る前に、問題を迅速に検出して解決しなければなりません。Arbor SP は、ネットワークのホットスポット、BGP ハイジャック、DDoS 攻撃トラフィックや、ネットワークのコンフィギュレーション・エラーのような、潜在的なサービス停止要因を検出することができます。その上で、問題を速やかに診断して解決するために根本的原因を分析するツールを提供します。



### 収益を生み出すサービスの開始

ビジネスの成長は極めて重要です。ネットワーク運営者にとって、収益の成長を支え、促進することは不可欠です。Arbor SP を使用することで、ネットワーク運営者は、DDoS 防御、顧客または ASN に固有のトラフィックの分析、サービス品質 (QoS) および MPLS VPN サービスなど、新規サービスを提供することができます。これまでの投資および既存のインフラを活用することで、新たなサービスを速やかに立ち上げたり、既存のサービスを強化したりすることができます。Arbor SP が提供するビルトインのポータル、マルチテナントの顧客スコーピング、強力な RESTful API は、このような新規サービスに役立ちます。



**ARBOR**  
NETWORKS

The Security Division of NETSCOUT

## Arbor SP・FLEX ライセンス・オプション

### 個別ライセンス

必要に応じてその都度 Arbor SP の永続 FLEX ライセンスをご購入ください。その後は、年に 1 回の各ライセンスの保守およびサポート費用のみです。高成長の設備投資重視のネットワーク運営者に最適です。

### サイト・ライセンス

各導入サイト(現在および今後予定されるニーズ)をカバーする一時 Arbor SP の永続 FLEX ライセンスをご購入ください。その後、年に 1 回の包括保守およびサポート費用のみとなります。大規模かつ高成長の設備投資重視のネットワーク運営者に最適です。

### サブスクリプション

保守およびサポート費用を含む年間ライセンス・サブスクリプションをご購入いただけます。急激に変化する市場動向および予測不可能な成長ニーズへの対応が必要な運用コスト重視の企業に最適です。

## Arbor Networks SP の拡張性

BGP ルート(ユニーク)	3,750,000,000	収集アプライアンス数	150
フロー/秒 (サンプリングされていないデータ)	30,000,000	Arbor Networks APS アプライアンス(クラウド・シグナリング)	200
監視対象ルーター	5,000	Arbor TMS アプライアンス(管理対象)	100
監視対象インターフェイス	200,000	ユーザー合計数	700
合計インターフェイス	550,000	同時に使用可能なユーザー数	100
管理対象オブジェクト	20,000		

## Arbor Networks SP の機能

機能	利点(および事例)
トラフィックおよびルーティング	<ul style="list-style-type: none"> <li>Arbor SP 導入環境において 32 台のコア・ルーターまたは 100 台のエッジ・ルーターから最大で毎秒 200k フローを収集</li> <li>収集および分析機能(BGP ピアリング分析を除く)を実施</li> </ul>
ユーザー・インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> <li>SP 導入の管理およびレポート機能に専用のユーザー・インターフェイスを搭載</li> <li>最大で同時に 100 ユーザーを、導入件数ごとに 700 ユーザーをサポート</li> <li>Cloud Signaling™ 向けに最大で 200 台の Arbor Networks APS アプライアンスをサポート。Cloud Signaling™ は、マルチテナント環境における顧客ポータル、ポータル API、およびさらに多くの同時使用可能なユーザー数をサポートするマネージド・サービスに適した機能である。</li> </ul>
データ・ストレージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>監視され保護される管理対象オブジェクト(顧客、ネットワーク、リソース)を作成するための専用の管理プラットフォーム</li> <li>最大 1000 個の管理対象オブジェクト(MO)をサポート</li> </ul>
モバイルパケット・コアの分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>3G (HSPA) および 4G (LTE) GTP-C メッセージフローのリアルタイムおよび時系列の履歴解析</li> <li>GTP-C トラフィック(悪意のあるものおよびないもの)の異常の検出およびアラート</li> <li>SP UI と完全に統合</li> <li>ライセンス追加によって毎秒 25K、50K または 100K の GTP-C メッセージに対応可能</li> <li>毎秒最大で 1M の GTP-C メッセージをサポート</li> </ul>

## Arbor Networks SP を仮想マシンに導入する際の要件

	VMware	Xen	KVM
ハイパーバイザー	VMware vSphere v5.0, 5.1, 5.5	Xen Cloud Platform v1.6.10-61809c	KVM QEMU v1.4.2
vCPU*	8~32 個	8~15 個	8~32 個
ネットワーク・インターフェイス	1~10 個	1~10 個	1~10 個
メモリー*	8, 16, 24, 32 GB	8, 16, 24, 32 GB	8, 16, 24, 32 GB
ストレージ*	100 GB 以上が必要	100 GB 以上が必要	100 GB 以上が必要

\* 備考:トラフィックとルーティングの分析を目的として仮想マシンを構成する場合、32 個の vCPU(Xen の場合は 15 個)、32GB メモリーおよび最低 500GB のストレージ空き容量を推奨します。

## Arbor Networks SP-7000 アプライアンスの仕様

機能	説明
電源要件	冗長構成の負荷分散型、自動感知の 850W 二重化電源、AC:100-240 VAC、50/60 Hz、12/6 A、DC:-40~-72 V、28/14 A(最大)
外形仕様	シャーシ:高さ 2U、重量:36.95 ポンド(17.7 kg)、高さ:3.45 インチ(8.76 cm)、幅:17.14 インチ(43.54 cm)、奥行き:20 インチ(50.8 cm)、標準的な 19 インチおよび 23 インチ・ラックに搭載可能
ハード・ドライブ	SSD 480 GB x 6 (RAID 5 構成済み)
ネットワーク・インターフェイス	4 x 1 GigE (銅線 SFP、GigE SX、GigE LX)、または 8 x 1 GigE (銅線 SFP、GigE SX、GigE LX) または 2 x 10 GigE (SFP+ SR/LR) または 2 x 10 GigE (SFP+ SR/LR) および 4 x 1 GigE (銅線 SFP、GigE SX、GigE LX)
環境仕様	動作温度:5° ~44° C、湿度(動作時):95%、23° ~40° C で結露なきこと
オペレーティングシステム	Arbor が開発した Linux ベースの組み込み OS である ArbOS を搭載。
法規制への準拠	UL60950-1/CSA 60950-1; EN60950-1; IEC60950-1; CB 証明書/テストレポート(あらゆる国際的な規格差異を含む); SONCAP; EAC マーク; CE-低電圧指令 2014/35/ EU; KCC マーク, RoHS 2011/65/EU; Telcordia GR-63; ETSI EN 300 019; NEBS; ETSI EN 300 753; cULus マーク; IC ICES-003 Class A; CE マーキング (EMC 指令に適合), 2014/30/EU; EN55022, Class A; EN55024; EN61000-3-2; EN61000-3-3; CISPR 22, Class A, CISPR 24 電磁波耐性規格; FCC 47 CFR Parts 15, Class A



The Security Division of NETSCOUT

### 本社

76 Blanchard Road  
Burlington, MA 01803 USA  
米国内通話料無料: +1 866 212 7267  
TEL: +1 781 362 4300

### 北米

米国内通話料無料: +1 855 773 9200

### ヨーロッパ

TEL: +44 207 127 8147

### アジア・パシフィック

TEL: +65 6664 3140

### 日本

〒101-0063  
東京都千代田区神田淡路町 2-105  
ワテラス アネックス 13 階  
TEL: 03 3525 8040  
お問い合わせ japan@arbor.net

www.arbornetworks.com